学校番号	３０２６

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「歴史総合 近代から現代へ　改訂版」　（山川出版社）						
副教材等	ダイアローグ歴史総合　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は原因と結果の積み重ねで成り立っています。すべての事象には、その過去に発生要因があります。歴史総合で扱う時代は、主に 18 世紀以降になり、この期間に起こった事象のほとんどが、現在の国際問題になっている事象の要因になっています。中学校での学習を基盤とし、さらに複雑な課題にも主体的に取り組む姿勢、および普段から国内外を問わずニュースに興味関心を持つことが期待されますが、この積み重ねを続けることで、自身が社会の一員であることを自覚し、日常生活における出来事であれ冷静かつ論理的に判断・分析する力が身につき、かつ将来の目標設定にも役立ちます。学習量が多いからと厭うことなく、自身の能力のアップデートのために学習に取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
同時代の世界・日本および現代との対比などを含め、高校課程で新たに登場する歴史に関する様々な情報を理解し、分析する上で適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
２年次以降においてより詳細な歴史学習が可能となるよう、世界とその中の日本を相互的な視野で捉え、課題を把握し、その解決を視野に入れて自分の意見や考えをまとめる。
【学びに向かう力、人間性等】
グローバル化の進む 21 世紀社会のなかで、広い視野に立ち、自らの力で生き抜くための基礎教養を身に付け、日本国民として、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	歴史学の入門として、史実や歴史資料などに対する理解を総合的に習得できている。また、与えられた資料から、情報を調べ、読み取ることができる。	歴史事象や歴史学習の意義について、多角的かつ多面的に考察・理解できる。さらに、現代社会における諸課題の解決に向けて、習得した知識を援用し、議論することができる。	グローバル化の進む現代社会において、他国の出来事を他人事として受け流すのではなく、地球規模での事象として捉えられるよう、地域・時間軸を超えて歴史事象に興味・関心を持ち、その理解に努めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近代化と私たち	■近代化への胎動 ■欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	a:18 世紀のアジアの経済・社会・国家システムについて理解している。また、資料を見て情報を読み取る技能を身に付けている。 b:18 世紀のアジア諸国の事情と欧米諸国との関係性について、複数の資料から情報を読み取り、その意味や意義、特色などを考察し、表現している。 c:近代化にともなう社会の変容について主体的に追究、解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	レポート作成・定期考査など	ノートなど
	近代化	■欧米諸国と日本の国民国家形成	a:産業革命や市民革命のあとの資本主義と工業化、世界市場の形成について理解している。また、資料を見て、情報を読み取る技能を身に付けている。 b:政治変革や国民国家の特徴、世界市場形成と日本の開国の関係性について、複数の資料から情報を読み取り、その意味や意義、特色などを考察し、表現している。 c:近代化の歴史にかかわる諸事象について、これまでの学習を振り返りながら主体的に追究、解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	レポート作成・定期考査など	ノートなど
2	近代化／国際秩序の変化や大衆化	■帝国主義の時代 ■第一次世界大戦と大衆社会	a:列強の帝国主義政策と国家間対立、アジア諸国の変容、総力戦、WWI 後の国際秩序、大衆文化の形成や社会運動の拡大について理解している。また、資料を見て、情報を読み取る技能を身に付けている。 b:帝国主義政策の特徴や列強諸国間の関係性、WWI の特徴とその社会への影響について、複数の資料から情報を読み取り、その意味や意義、特色などを考察し、表現している。 c：国際秩序の変化や大衆化の歴史にかかわる諸事象について、これまでの学習を振り返りながら主体的に追究、解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	レポート作成・定期考査など	ノートなど

	国際秩序の変化や大衆化	■経済危機と第二次世界大戦	a:WWI 後の国際秩序の動揺やWWII 後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について理解している。また、資料を見て、情報を読み取る技能を身に付けている。 b:各国の世界恐慌への対応の特徴や国際秩序の動揺の要因、WWII の特徴とその影響について、複数の資料から情報を読み取り、その意味や意義、特色などを考察し、表現している。 c：国際秩序の変化や大衆化の歴史にかかわる諸事象について、これまでの学習を振り返りながら主体的に追究、解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	レポート作成・定期考査など	ノートなど
3	グローバル化	■冷戦と脱植民地化 ■多極化する社会 ■グローバル化と現代世界	a:グローバル化にともなう生活・社会、国際政治、市場経済の変容について理解している。また、資料を見て、情報を読み取る技能を身に付けている。 b:現代の地域紛争の背景や影響、冷戦との関係性について、複数の資料から情報を読み取り、その意味や意義、特色などを考察し、表現している。 c：グローバル化の歴史にかかわる諸事象について、これまでの学習を振り返りながら主体的に追究、解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	レポート作成・定期考査など	ノートなど

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度